

職員向け	放課後等デイサービス評価表
------	---------------

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。  
 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	改善が必要だと思われる点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1		おもちゃの整理整頓をしていきたい（視覚的に子どもが見やすい。片づけやすい）
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		クールダウンスペースの配慮がされている。 集中したい時、特性に合わせて場所の移動ができる。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎日の申し送りを行い、その時に意見を発信することができている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		nico管理者の竹内先生、児童発達支援管理責任者の土屋先生からの評価結果をもとに改善を務めている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的に外部の研修を受講している。また受講できなかった職員へ、研修内容の共有をおこなっている。	
支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		アセスメント、モニタリング等を適切に行い、個別支援計画の作成を行っている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		野外活動や季節に合わせた活動などの工夫がある。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		送迎の確認、加配の職員への伝達活動内容などの確認を行なっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1		その日によってできない時もあり翌日に振り返りとなる場合は、日報の確認や次回の出勤時に必ず共有する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		必ず記録をとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6		民生委員の方やボランティアの方との関わり合いで良い刺激になっていると思う。	今後も地域の方との交流を大切にしていきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		下校時間の確認は毎月行っている。 また、送迎時のトラブルも学校と連絡を取りながら対応している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1		地域の子どもとの交流が少ない為、今後は児童クラブ等との関わりを持って行けるようにしたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	相談支援員との連携をとっている。	ペアトレーニングの研修は参加が出来ていない。今後そのような機会を設けていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に丁寧な説明をしている。	
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		半年に1回、1年に2回は面談を行い、お困りごとや不安点に対する助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	作品展や家族体験イベントなど、保護者の方の参加の機会を設けている。	保護者同士の交流の機会が少ない為、今後も増やしていきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	作品展や活動などに招待し、地域の方との交流を行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		安全計画に基づいて訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットの報告を記録として残し、対策・改善に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止の指針等、職員間で共有をし、研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			

## 放課後等デイサービス評価表

Pico

(保護者の皆さまへ)

○本評価表は、放課後等デイサービスを利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「(はい)」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入してください。

また、ご意見なども記入していただければ助かります。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていますか。	17	1		1	外遊びもゲームも色々あり、楽しそうです。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1		3	いつも元気な先生がたくさんみえる印象があります。	
	3	生活空間・療育空間は子どもに分かりやすく表記されていますか。また事業所の設備等は、特性に応じ配慮が適切にされていますか。（クールダウンスペースや学習室の振り分け）	17			2	高学年は学習室、低学年は学習室と分けられているイメージがある。	低学年は来所時間が早い為、1階の和室で学習を行います。高学年は来所時間が遅く、1階の療育室から離れた、2階の学習室で行っています。静かな空間で行うことができるよう、配慮しております。
	4	生活空間・療育空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていますか。	18	1			場は分かるのですが、どのように使用しているのか分からず。	1階和室は主に学習室、リビングは療育室、2階は活動室（運動遊び等）、工作室となっております。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けていると思いますか。	18			1	いつも職員の方が子どもたちに寄り添って支援してくれていると感じます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	1			どこに公表されているか分からず。	事業所ホームページにて公表しております。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていますか。	19					
	8	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていますか。	15	1		3	ガイドラインが出ていていることを知らない。	厚生労働省よりガイドラインが出ております。
保護者への説明等	9	個別支援計画に沿った支援が行われていますか。	18			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていますか。	15	2		2	もう少し土曜日にいろんな活動ができるようにしてほしい。制作活動に飽きている様子。	土曜日は造形教室がありますが、野外活動や集団遊びも多く取り入れ、様々な体験ができるよう、工夫していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	9		1	9	児童クラブに行っているか分からず。	児童クラブには行ったことがありません。今後、児童クラブとの交流の機会を持つようにしていきたいと思います。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19				支援プログラムなどの説明を受けました。	
保護者の方への説明	13	個別支援計画を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19					
	14	事業所では、家族に対して家族支援（不安点の解消やお困りごとの解決）に速やかに適切に対応していますか。	18	1			色々と相談をさせてもらっています。また、困りごとがあった際はよろしくお願ひします。	引き続き、保護者の方のご不安点やお困りごとの解決を心掛けたいと思います。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	18	1			日々HUGでPicoの様子を見る事ができ安心しています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	2				
保護者の方への説明	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1		2		半年ごとの個別支援計画の面談を行っております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	3	3	3	保護者同士の交流の機会がありましたらぜひ参加をしたいです。	年に2回ほど開催しております。今後もこのような機会を増やしていけたらと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16			3		

等	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17		1	1	発信されているところを見たことがない。 Picoでは今回の評価表が初めてです。 今後、1年ごとに公表いたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15			4	十分に留意はされているのでしょうか。 秘密の保持として、正当な理由がない限り個人情報等の秘密を保持しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18			1	各マニュアルの訓練が行われているか分からない。 安全計画をもとに、緊急時の対応や感染症対応等、保護者の方への説明・共有をさせていただいております。 また、不審者対応など、定期的に子どもたちと訓練を行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			1	定期的とはどのくらいですか。 年に2回以上おこなっております。 訓練の様子はHUGの活動記録にもございます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていますか。	18			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていますか。	17	1		1	子どもが遊んでいる時に体調不良になり、すぐに連絡をくれました。 その後も丁寧な対応でした。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	2			いろいろな体験をさせていただけているので、とても楽しく通っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19				親子共に大満足です。

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	Pico		
○保護者評価実施期間	令和7年8月1日 ~ 令和7年8月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	年月日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年7月24日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・環境の工夫	・学習、遊び(活動)、クールダウンスペースなど、場面に応じた部屋の割り振りを行いながら支援に当たっている。 また、おもちゃの入れ替えや危険な箇所がないか、職員間で話し合い、改善している。	・職員や子どもたちの声を受け入れ、日々改善を心がけていく。 また、視覚的に片付けがしやすいよう、写真を掲示するなど、工夫していきたい。
2	・地域との関わり	・近所の神社や民生委員の方とのつながりを大切にしている。 子どもたちが活動で季節の作品を作り、職員と一緒にお渡しをしている。 また、事業所内のイベントに招待をするなど、関わりを大切にしている。	・引き続き、近所の神社の方や民生委員の方との関わりを大切にしていく。 また、活動の中に地域交流の内容を組み込むなど、さらに関わりを深めていけるようにしていきたい。
3	・季節ごとのイベントや日々の活動プログラムの充実	・毎月の季節の制作に力を入れている。 活動プログラムでは5領域を取り入れた内容や季節のイベントを行うなど、工夫をしている。 また、作品展や体験イベントなど、家族の方が参加できる機会を設け、保護者同士の交流が持てるようにしている。	・家族参加型のイベントが年2回ほどのため、今後もこのような機会を増やしていくようにしたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・広くない環境の中で、落ち着いて行動すること、活動への参加の促しが難しい時がある。	・室内の音が響きやすく、活動や遊びの部屋を分ける工夫をしているが、雑音が苦手な子の気持ちが不安定になる場面が見られる。	・その日の利用人数に合わせた部屋割りをしたり、加配が必要な場合や特性に合わせた対応を毎日の申し送りで周知していく、見通しを持った支援ができるようにしていく。
2			
3			